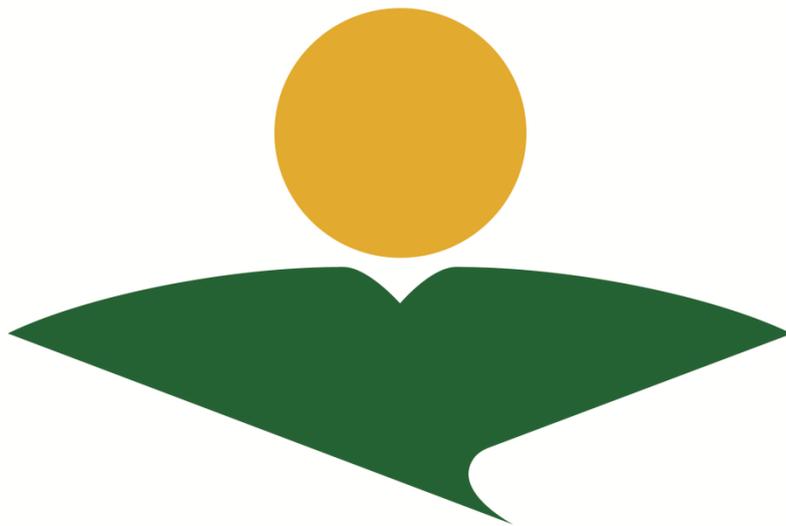


# 2019（令和元）年度 事業報告書

※事業年度 2019年4月1日～2020年3月31日



学校法人銀杏学園 熊本保健科学大学

Kumamoto Health Science University

# 学校法人銀杏学園 熊本保健科学大学 令和元年度の主な取り組み

## 教育

### 【令和元年度の「主な取り組み」及び「達成内容」】

- 「一般入試」において、志願者調書による主体性評価の試行的導入  
⇒志願者に対する志願者調書の提出率：58.1%
- アカデミックスキル養成を目的とした全学必修科目の開講  
⇒アカデミックスキルⅠ（1年前期）、アカデミックスキルⅡ（1年後期）
- 修学ポートフォリオの本格的な運用による学修成果の可視化  
⇒修学ポートフォリオへの学生の入力率：90%、ディプロマサプリメントの発行

### 【中期計画の期間目標】★印は令和元年度の「主な取り組み」に記載した項目

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| ★1) 優秀で意欲ある入学生の確保 | ★2) 教育課程の体系的な改編     |
| 3) 授業の質向上と学務IRの推進 | ★4) 教育結果の検証とフィードバック |
| 5) 学外実習の充実        | 6) 学生の主体的活動の支援      |
| 7) 国家試験対策の強化      | 8) 就職支援の強化          |
| 9) 社会活動の推進        | 10) 国際力の向上          |

## 研究

### 【令和元年度の「主な取り組み」及び「達成内容」】

- 一般財団法人「化学及血清療法研究所」との共同研究講座の設置  
⇒生物毒素・抗毒素共同研究講座の開設（10月）
- 学術的集会等の開催  
⇒先端研究セミナー（4回）、学術講演会（3回）、サイエンスカフェ（7回）

### 【中期計画の期間目標】★印は令和元年度の「主な取り組み」に記載した項目

- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| ★1) 本学の特色を生かした共同研究の推進 | ★2) 若手研究者の支援    |
| 3) 研究環境の整備            | 4) 外部資金の獲得      |
| 5) 研究費の効果的配分          | ★6) 研究成果の社会への還元 |
| 7) 倫理規定の遵守            |                 |

## 経営

### 【令和元年度の「主な取り組み」及び「達成内容」】

- 新たに策定した中長期計画を基軸としたPDCAサイクルの循環  
⇒年次事業計画（令和2年度）の同期化、中期計画のブラッシュアップ（進行中）
- ブランド力の構築と強化  
⇒ユニバーシティ・アイデンティティ（UI）の構築  
タグラインやキービジュアルの積極活用によるブランディング
- 学費水準の検討と財源の多様化による収入増加策の実施  
⇒令和2年度入学生からの学費値上げ、熊本大夢基金の創設による寄付金の増大
- 学生支援のための奨学金制度の新設・拡充  
⇒入学試験前予約型奨学制度の新設、非社会人大学院生の奨学金の拡充

### 【中期計画の期間目標】★印は令和元年度の「主な取り組み」に記載した項目

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| ★1) 中長期計画の実行とローリング   | ★2) ブランド力の構築・強化         |
| 3) 財政の健全化            | 4) 組織の整備・拡充/人事・給与制度の適正化 |
| 5) 施設の活用・整備          | ★6) 学費水準の検討/財源の多様化      |
| 7) 病院・大学との連携/マーケティング | ★8) 奨学金制度の新設・拡充         |
| 9) 事務の効率化            | 10) 自己管理/内部監査           |

## 業務運営・その他

### 【令和元年度の「主な取り組み」及び「達成内容」】

- 学長のリーダーシップによる教学マネジメントの実行  
⇒アセスメントプランに沿った各種IRデータに基づくマネジメント（随時）  
⇒私立大学等改革総合支援事業のタイプ1「特色ある教育の展開」への選定
- 「第3期大学機関別認証評価」に向けた全学的な体制の整備  
⇒受審体制の確定、リエゾン・オフィスの本格始動
- 「大学コンソーシアム熊本」で形成するプラットフォームへの積極的な参画  
⇒各種委員会等への委員の派遣（委員会及び作業部会への参画）  
私立大学等改革総合支援事業のタイプ3「プラットフォーム型」への選定

### 【中期計画の期間目標】★印は令和元年度の「主な取り組み」に記載した項目

- |                             |  |
|-----------------------------|--|
| ★1) 学長のリーダーシップによる大学のガバナンス強化 |  |
| 2) 人事評価制度の改善及び教職員の能力向上      |  |
| 3) 職場の環境づくりの推進              |  |
| ★4) 評価の充実                   |  |
| 5) 情報公開や情報発信等の推進            |  |
| ★6) プラットフォーム形成への参画          |  |

## 目 次

### I 法人の概要

- 1 建学の精神、基本理念及びミッション
- 2 沿革
- 3 役員・評議員
- 4 設置する学校・学部・学科等
- 5 入学定員及び学生数
- 6 教職員の概要
- 7 卒業生の概要

### II 事業の概要

- 1 主な事業の内容
  - (1) 全体概要
  - (2) 教育に関すること
  - (3) 研究に関すること
  - (4) 経営に関すること
  - (5) 業務運営・その他に関すること
- 2 学生の動向
  - (1) 入学試験における志願等の状況
  - (2) 国家試験の合格状況
  - (3) 卒業生の進路状況

### III 財務の概要

- 1 事業活動収支計算書（過去5年分）
- 2 貸借対照表（過去5年分）
- 3 財務比率（過去5年分）

## I 法人の概要

### 1 建学の精神、基本理念及びミッション

#### (1) 建学の精神

建学の精神は、「優れた医療技術者の養成を通じて社会に貢献すること」です。

これは、予防医学を主務とする財団法人化学及血清療法研究所が、同財団の公益事業の一環として1959年に設立した、本学の前身の「化血研衛生検査技師養成所」から継承されているものです。

#### (2) 基本理念

本学は、「知識」「技術」「思慮」「仁愛」を四綱領とし、以下の基本理念を掲げています。

- 1) 保健医療分野に関する専門知識技術の教育と研究を行う
- 2) 人間と社会に深い洞察力を持つ人材の育成
- 3) 高度な知識と技術を有し、保健医療分野に貢献できる人材の育成
- 4) 豊かな人間性を備え、創造性に富む、活力ある人材の育成

#### (3) ミッション

建学の精神や基本理念を踏まえ、本学のミッションを次のように定めています。

保健医療分野の教育と研究を通して社会に貢献できる医療技術者を養成する。

## 2 沿革

1959(昭和 34)年 4 月	化血研衛生検査技師養成所 創設 (熊本市古京町) ※衛生検査技師法の立法に基づく厚生省指定全国初の 6 つの施設の一つ
1960(昭和 35)年 4 月	熊本医学技術専門学校と名称変更
1968(昭和 43)年 4 月	学校法人銀杏学園 銀杏学園短期大学 開学 (熊本市清水町) 衛生検査技師法の規定による学校として発足
1971(昭和 46)年 1 月	専攻科設置、臨床検査技師国家試験受験資格が与えられる
1972(昭和 47)年 9 月	3 年制への学制変更届出
1973(昭和 48)年 4 月	同上受理、新制度による短期大学 発足
1983(昭和 58)年 4 月	2 年制の看護科設置
2002(平成 14)年 12 月	熊本保健科学大学設置認可
2003(平成 15)年 4 月	熊本保健科学大学 開学 (熊本市和泉町) (保健科学部 衛生技術学科、看護学科) 銀杏学園短期大学募集停止 (衛生技術科、看護科)
2004(平成 16)年 3 月	銀杏学園短期大学 看護科 終了
2006(平成 18)年 1 月	同短期大学 衛生技術科 終了、同短期大学廃止認可
2007(平成 19)年 4 月	熊本保健科学大学 リハビリテーション (リハ) 学科 新設 (理学療法学専攻、作業療法学専攻) 熊本保健科学大学 助産別科 新設
2008(平成 20)年 10 月	熊本保健科学大学大学院 (修士課程) 設置認可
2009(平成 21)年 4 月	大学院保健科学研究科 保健科学専攻 開設 熊本保健科学大学キャリア教育研修センター 開設
2009(平成 21)年 10 月	キャリア教育研修センター認定看護師教育課程 新設 (脳卒中リハ看護分野)
2011(平成 23)年 4 月	衛生技術学科を医学検査学科と改称 リハ学科言語聴覚学専攻 新設
2012(平成 24)年 4 月	認定看護師教育課程 (慢性心不全看護分野) 新設
2013(平成 25)年 4 月	リハ学科作業療法学専攻を生活機能療法学専攻と改称
2017(平成 29)年 4 月	地域包括連携医療教育研究センターを設置 認定看護師教育課程 (認知症看護分野) 新設
2018(平成 30)年 3 月	新アリーナ竣工
2018(平成 30)年 3 月	認定看護師教育課程 (慢性心不全看護分野) 閉講
2018(平成 30)年 4 月	学生相談・修学サポートセンターを設置

## 3 役員・評議員

※2020(令和2)年3月31日現在

(1) 理事／定員9～13名、現員11名

区 分	氏 名	選任区分
理事長*	崎 元 達 郎	理事の互選
理事	竹 屋 元 裕	学 長
理事 (外部理事)	福 田 稠	評議員
理事	高 濱 和 夫	評議員
理事	杉 内 博 幸	評議員
理事 (外部理事)	木 下 統 晴	評議員
理事 (外部理事)	副 島 秀 久	学識経験者
理事 (外部理事)	高 橋 毅	学識経験者
理事 (外部理事)	猪 股 裕紀洋	学識経験者
理事 (外部理事)	田 川 憲 生	学識経験者
理事 (外部理事)	佐 藤 哲 朗	学識経験者
理事	崎 元 達 郎	学識経験者

\*平成31年3月19日付け重任

(2) 監事／定員2名、現員2名

区 分	氏 名	選任区分
監事	林 田 喜 一	監 事
監事	溝 上 寛	監 事

(3) 名誉顧問

区 分	氏 名	選任区分
名誉顧問	米 満 弘 之	
名誉顧問	小 野 友 道	

## (4) 評議員／定員 19～27 名、現員 25 名

氏名	選任区分	所属・役職等
竹屋 元裕	法人職員	熊本保健科学大学学長
高濱 和夫	法人職員	熊本保健科学大学副学長
杉内 博幸	法人職員	熊本保健科学大学副学長
檜原 真二	法人職員	熊本保健科学大学学部長
今村 修	法人職員	学校法人銀杏学園法人局長
瀧口 巖	卒業生	熊本保健科学大学同窓会連合会長
原田 精一	卒業生	同医学検査学科同窓会長
中野 博之	卒業生	同看護学科同窓会長
池田 夕希	卒業生	同助産別科同窓会長
福田 稠	学識経験者	熊本県医師会長
園田 寛	学識経験者	熊本市医師会長
福吉 葉子	学識経験者	熊本県臨床検査技師会副会長
嶋田 晶子	学識経験者	熊本県看護協会会長
坂崎 浩一	学識経験者	熊本県理学療法士協会会長
内田 正剛	学識経験者	熊本県作業療法士会長
山本 恵仙	学識経験者	熊本県言語聴覚士会長
谷原 秀信	学識経験者	熊本大学病院院長
平田 稔彦	学識経験者	熊本赤十字病院院長
米満 弘一郎	学識経験者	寿量会理事長
浅山 弘康	学識経験者	熊本経営者協会顧問
毛利 浩一	学識経験者	(株)フードパル熊本代表取締役
内田 昭治	学識経験者	西里校区自治協議会長
馬場 啓	学識経験者	銀杏学園顧問弁護士
木下 統晴	学識経験者	化血研理事長
藤井 隆	学識経験者	化血研副理事長

#### 4 設置する学校・学部・学科等

- 熊本保健科学大学／保健科学部
  - 医学検査学科
  - 看護学科
  - リハビリテーション学科
    - 理学療法学専攻
    - 生活機能療法学専攻
    - 言語聴覚学専攻
- 熊本保健科学大学大学院／保健科学研究科／保健科学専攻(修士課程)
- 熊本保健科学大学／助産別科
- 熊本保健科学大学キャリア教育研修センター／認定看護師教育課程
  - 脳卒中リハビリテーション看護分野
  - 認知症看護分野

#### 5 入学定員及び学生数

※2019(令和元)年5月1日現在

学部	学科／専攻	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	
保健科学部	医学検査	100	400	118	124	106	114	<b>462</b>	
	看護	100	400	127	118	111	109	<b>465</b>	
	リハビリテーション	理学療法学	40	160	49	47	42	44	<b>182</b>
		生活機能療法学	40	160	40	45	41	43	<b>169</b>
		言語聴覚学	40	160	48	44	44	49	<b>185</b>
	リハ学科 計	120	480	137	136	127	136	<b>536</b>	
保健科学部 計		320	1,280	382	378	344	359	<b>1,463</b>	
保健科学研究科		10	20	4	7	—	—	<b>11</b>	
助産別科		20	20	20	—	—	—	<b>20</b>	
認定看護師教育課程 (認知症看護分野)		15	15	25	—	—	—	<b>25</b>	
学生数 合計		<b>365</b>	<b>1,335</b>	—	—	—	—	<b>1,519</b>	

## 6 教職員の概要

(1) 教員数

※ ( ) は兼任を含む。

※2019(令和元)年5月1日現在

学部	学 科	専任教員数					助手	兼任	合計
		教授	准教授	講師	助教	計			
保健科学部	医学検査学科	13	7	8	2	30	1	189	317
	看護学科	11	9	11	4	35	26		
	リハビリテーション学科	9	11	12	2	34	2		
保健科学部 計		33	27	31	8	99	29	189	317
保健科学研究科(うち院専任)		0(18)	0(13)	0(6)	0(0)	0(37)	—	8	8(37)
助産別科		1	0	1	1	3	—	20	23
キャリア教育研修センター		1	1	0	1	3	—	34	37
地域包括連携医療教育研究センター		1	1	0	0	2	2	0	4
学生相談・修学サポートセンター		1	0	0	0	1			1
合 計		37	29	32	10	108	31	251	390

(2) 職員数

※2019(令和元)年5月1日現在

正職員	嘱託	パート (アルバイトも含む)	派遣	合計
27	24	6	2	59

## 7 卒業生の概要

※2020(令和2)年3月31日現在

※卒業生総数：9,417名
---------------

(1) 熊本医学技術専門学校 卒業生 327名

(2) 银杏学園短期大学 卒業生 4,327名

衛生技術科 3,457名、衛生技術専攻科 14名、看護科 856名

(3) 熊本保健科学大学 卒業生 4,763名 (令和元年度卒：404名)

衛生技術学科及び医学検査学科 1,524名

看護学科 1,565名

リハビリテーション学科 1,110名

理学療法学専攻 451名、言語聴覚学専攻 252名

作業療法学専攻及び生活機能療法学専攻 407名

助産別科 261名

大学院保健科学研究科 91名

キャリア教育研修センター認定看護師教育課程 212名

脳卒中リハビリテーション看護 118名、慢性心不全看護 24名

認知症看護 70名

## Ⅱ 事業の概要

### 1 主な事業の内容

#### (1) 全体概要

2019(令和元)年度は、熊本保健科学大学の前身である「化血研衛生検査技師養成所」が創設されてから満60年を迎える節目の年でした。そのため、開学記念日である5月15日に記念式典・特別講演会(新アリーナ)及び祝賀会(レストラン)を開催するとともに、50周年後の10年間の「本学のあゆみ」を冊子体として作成しました。

また、2015(平成27)年度以来、教育改革推進会議のもとで進められてきた各種教育改革・入学試験改革は、基本になる制度設計を終え、教育改革の実践、特にアセスメントプランに基づくPDCAサイクルの確立に全教職員の力を注ぎました。また、この改革の一つの成果として、「特色ある教育」に対する補助金事業である私立大学等改革総合支援事業のタイプ1に選定されました(過去7年間で6度目の選定)。

年度末に入ると、日本全国に非常事態を巻き起こした新型コロナウイルス感染症への対応に追われました。本学では、1月30日に学生に対して注意喚起を行ったのをはじめとして、2月20日に危機管理委員会を招集し、その下に「新型コロナウイルス感染対策WG」を設置しました。さらに、2月26日には「危機対策本部」を設置し、年度内に12回の会議を重ね、卒業式の中止や入学式の開催方法、令和2年度前期授業開始日の延期等について決定を下しました。

#### (2) 教育に関すること

##### 1) 優秀で意欲ある入学生の確保

- ① 一般入試において、志願者調書による主体性の評価を試行的に導入しました。
  - ・志願者調書の提出率58.1%
- ② 高校との入試改革に関する意見交換会を実施しました。
  - ・2つの県立高等学校(市内及び市外の拠点校)で実施
- ③ 次年度から新たに導入する総合型選抜の具体策を決定しました。
  - ・リーダーシップ選抜(通称)、給付型奨学金制度との連動

##### 2) 教育課程の体系的な改編

- ① アカデミックスキル養成を目的とした全学必修科目を開講しました。
  - ・アカデミックスキルⅠ(1年前期)、アカデミックスキルⅡ(1年後期)
- ② 専門科目への橋渡しとして効果的なリメディアル教育の見直しを行いました。
- ③ コア・カリキュラム改定に伴うリハ学科のカリキュラム構築を完了しました。

3) 授業の質向上と学務 IR の推進

- ① アクティブ・ラーニングのワークショップを開催しました。
  - ・ OSCE 導入支援 (10 月)、ピアレビュー (12 月)
- ② 3 学科混成による 4 年次後期開講科目「チーム医療演習」の充実を図りました。
  - ・ 模擬患者 (臨床所見、検査データ) の病態やケアを統合した発表の実施 (11 月)
- ③ FD セミナーを実施しました。
  - ・ 9 月「キャンパスにおける多様性への配慮」講師：福岡女学院大 池田理知子氏
  - ・ 3 月「第三期認証評価のねらいと概要」→新型コロナウイルスの影響で中止

4) 教育結果の検証とフィードバック

- ① アセスメントプランに基づき実施し、学生へのフィードバックを行いました。
  - ・ 国家試験合格率、就職・進学率、進級・卒業率、中退率等の分析 (4~5 月)
  - ・ 基礎力レポート I (1 年次 4 月) →分析会の実施 (9 月)
  - ・ 基礎力レポート II (3 年次 10 月) →分析資料の Web ポータルサイトへの公開
  - ・ 学修行動調査 (1 年次 10 月、2~4 年次 4 月) →学生との意見交換会 (1 月)
  - ・ 授業改善アンケート (前期：回収率 75.8%、後期：回収率 72.5%)
  - ・ 卒業前アンケート (2 月)、卒業生アンケート (12 月)
  - ・ 学長による 4 年に一度の施設訪問 (8 施設) →就職先アンケート
- ② 修学ポートフォリオを本格的に運用し、学修成果の可視化を行いました。
  - ・ SG 担任による学生全員面談の実施、修学ポートフォリオへの入力率 90%
  - ・ 卒業生の希望者にディプロマサプリメントとして学修成果証明書を発行

5) 学外実習の充実

- ① 実習指導者会議を開催して、実習施設との連携を強化しました。
- ② 学外実習にルーブリック評価を導入し、学生へのフィードバックを行いました。
- ③ 各学科・専攻で OSCE (客観的臨床能力試験) を検討し、一部導入しました。

6) 学生の主体的活動の支援

- ① ピア・サポーター (実働 91 名)、1 年生プチ・サポーター (実働 36 名)。
- ② 学生自らが選書に参加する選書ツアーを 2 回実施し、合計 353 冊を選書しました。
- ③ 学友会活動等の支援 (主な活動支援)
  - ・ 球技大会 (6 月)、杏祭 (10 月)、シーズンプロジェクト (7 月、12 月)
  - ・ 西里駅清掃 (毎月 1 回土曜日実施、雨天等の中止 3 回、延べ 617 名参加)

7) 国家試験対策の強化

- ① 国家試験ガイドラインを視野に入れた教育及び対策を実施しました。
- ② 過去の国家試験合格と学業成績との関連を示し、学生に意識付けを行いました。
- ③ 国家試験対策講演会 (10 月、講師：大畑 誠也 氏) を開催しました。

8) 就職支援の強化

- ① 全学科において就勝ガイダンスを実施しました。
  - ・医検（2月）、看護（2月）、リハ（9月）、ST（4月・5月）
- ② 医療機関によるキャリア教育セミナー及び合同就職説明会を実施しました。
  - ・看護学科 84 施設、リハ学科 82 施設、言語聴覚学専攻 13 施設
- ③ 就職支援課による 4 年生に対する全員面談を実施しました。
  - ・面接実施率 92%（テーラーメイド就職支援の一環）

9) 社会活動の推進

- ① 各種イベントで、本学の特性を活かした健康・体力測定等を実施しました。
  - ・フードパル熊本主催「花と食の祭典（5月）」422名参加
  - ・「フードパルフェスタ（11月）」243名参加
  - ・「ふれあいフェスタ in ほくぶ（11月）」163名参加
  - ・城北校区秋祭り「ふれあいの日（10月）」214名参加
  - ・西里校区「井芹川大清掃」への参加（11月）：学生 64 名、教職員 16 名
  - ・西里校区グラウンドゴルフ大会の実施（5月）159名参加、（11月）200名参加
- ② 地域包括連携医療教育研究センター教員による熊本市北区及び合志市との連携活動を継続的に実施しました。

10) 国際力の向上

- ① 大邱保健大学（韓国）
  - ・Global Student Leadership Program に本学学生 3 名（医検 1 名、看護 2 名）を派遣（8月 11 日～20 日）
  - ・交換研修生として本学学生 8 名（医検 1 名、看護 2 名、リハ 5 名）を派遣（8月 29 日～9月 10 日）
  - ・大邱保健大学学生 8 名（医検 1 名、看護 2 名、リハ 5 名）の受入れ（7月 1 日～15 日）
- ② コンケン大学（タイ）
  - ・交換研修生として本学学生 6 名（医検 2 名、看護 2 名、リハ 2 名）を派遣（9月 7 日～20 日）
  - ・コンケン大学の学生 6 名（医検 2 名、看護 2 名、リハ 2 名）の受入れ（6月 1 日～15 日）
  - ・コンケン大学看護学部から 1 名の教員が交換研修生の引率として滞在
- ③ 熊保大海外留学プログラムへの学生派遣
  - ・米国イリノイ州での滞在・現地の病院訪問等（当初予定 3 月 1 日～29 日）
  - ・参加学生 19 名（医検 2 名、看護 9 名、リハ 8 名）
  - ・新型コロナウイルスの影響で、プログラムを変更して早期帰国（3 月 25 日）

### (3) 研究に関すること

- 1) 本学の特色を生かした共同研究の推進
  - ① 化血研と「生物毒素・抗毒素共同研究講座」を設置しました。
  - ② 研究シーズ集の公開数を増やしました（ホームページ掲載7件）。
  - ③ 地域包括連携医療教育研究センター主催の講演会や研修会を開催しました。
    - ・9回実施、延べ250名以上の参加
  - ④ 国際シンポジウム（11月）へ参加しました。
    - ・コンケン大学（タイ）で開催、参加・発表者：教員7名、職員1名
- 2) 若手研究者の支援
  - ① 科研費書き方講習会（8月）を開催しました。
  - ② 研究に関するアンケートを実施し、現状を把握しました。
  - ③ 「私の部屋でランチを」（8回）、「サイエンスカフェ」（7回）の実施
- 3) 研究環境等の整備
  - ① 図書館の活用状況は、以下の通りでした。
    - ・年間の開館日数は269日（前年268日）
    - ・入館者数85,893人（前年79,703人）
    - ・学生への貸出冊数13,897冊（前年14,869冊）
    - ・国家試験支援の休日特別開館（2月の土日祝日7日間）：1,570人が来館
  - ② 研究支援としてProQuest電子ブックの契約、医中誌Webのフリーアクセス契約
- 4) 外部資金の獲得
  - ① 令和元年度文科省科研費
    - ・新規8件採択（申請35件、採択率22.9%）、  
異動1件、継続12件、補助期間延長2件
  - ② 令和2年度文科省科研費申請31件（前年度35件）
    - （うち令和2年4月に7件の採択決定通知）
  - ③ 9件の共同研究実施
    - （ラッキー工業(株)、ヤフー(株)、(株)バスクリン、協和メデックス(株)、化血研、  
KMバイオロジクス(株)、熊本大学、大正製薬(株)、他1件）
- 5) 研究費の効果的配分
  - ① 学内研究助成・研究成果報告会（3月予定）→新型コロナウイルスの影響で中止
  - ② 平成30年度学内研究助成報告集の発行（8月）
- 6) 研究成果の社会への還元
  - ① 研究成果の評価

- ・優れた研究成果のホームページへの掲載促進（4件）
- ・研究業績管理システムの運用
- ・熊本保健科学大学研究誌第16号を学術情報リポジトリにてWeb公開

② 学術的集会の開催

- ・熊本保健科学大学先端研究セミナーの開催（9月から毎月1回、計4回開催）
  - 「古くて新しい疾患予防・治療法：Physical Medicineの研究」甲斐文教氏
  - 「ウイルス感染症治療薬研究の最前線」三隅将吾氏
  - 「アミロイドMRI～AD発症前検出と予防のために～」米田哲也氏
  - 「iPS細胞から腎臓を創る」西中村隆一氏
- ・学術講演会の開催
  - 「ケアイノベーション2020」真田弘美氏（2月13日）
  - 「iPS細胞を用いた疾患研究」江良沢実氏（2月19日）
  - 「アルデヒドが心筋梗塞、がんを生む」水野雄二氏（2月19日）

③ 熊本保健科学大学研究誌第17号の発行

- ・投稿数16件、採択数12件（総説1件、原著5件、研究報告3件、教育実践報告1件、その他2件）

7) 倫理規定の遵守

- ① 不正防止に関するeラーニング研修の受講を案内しました（受講率72.5%）。
- ② 顧問弁護士による利益相反講習会（9月）を開催しました。
- ③ ライフサイエンス倫理規程を一部改正しました。

(4) 経営に関すること

1) 中長期計画の実行とローリング（期中修正）

- ① 2019年度は新たに策定した中長期計画の初年度に当たるため、中長期計画および年次事業計画に則ってPDCAサイクルを循環させ、中長期計画を着実かつ効果的に実行することに重きをおいて取り組みました。
- ② 中長期計画の達成度評価および必要に応じたローリング（期中修正）については、中長期計画の実行状況を年次事業報告に基づいて整理したうえで、2020年6月末を目処に実施する予定です。

2) ブランド力の構築・強化

- ① ユニバーシティ・アイデンティティ（UI）の構築を進め、レギュレーションを概ね完了しました。
- ② ブランドコンセプト／タグライン／ボディコピー／キービジュアルを積極的に活用して、本学のブランディングを進めました。

- ③ 大学案内／ホームページ／Web 広告などの効果検証方法を概ね確立し、最大化に向けた具体策を検討中です。
- ④ 加速する国際化に対応するため、英語版ホームページを制作し、2019 年 4 月にリリースしました。

### 3) 財政の健全化

- ① 「広義の教育研究経費比率を 60%、広義の管理経費比率を 20%、減価償却費比率を 15%に抑制し、残る 5%を経常収支差額として、次なる経営戦略の原資とする」という目標達成のための実行計画を検討しましたが、2020 年度予算の経常収支差額が±ゼロの状況であり、現状では 2022 年度までの目標達成がかなり難しいため、2020 年度に改めて抜本的な収入増化策や支出削減策を検討することとしました。

### 4) 組織の整備・拡充／人事・給与制度の適正化

- ① 2020 年 4 月から事務組織の再編を実施しました。2020 年度も引き続き、組織体制／人事／人員配置のあるべき姿を検討して、フレームワークの構築を進める予定です。
- ② 診療放射線系学科の事前調査を行い、概ね完了しました。
- ③ 新たな人事・給与制度の確立には至りませんでした。人事評価の処遇への反映方法など、現行制度の変更を検討し、職員代表に提示しました。
- ④ 業務効率向上とキャリア形成を勘案した適正配置を実現するため、保留となっていた異動対象者の配置転換を実施しました。また、職員力の向上を目的とした SD 研修会を 1 月に実施しました。

### 5) 施設の活用・整備

- ① 旧アリーナ・レストランの改造計画について、2021 年 3 月完成に向けて計画どおりに実行しました。
- ② 自宅外生／留学生の交流／国際交流を支援するとともに、県外入学志願者の確保にも繋げるため、学生寮やそれに準じた施設の整備を検討中ですが、現時点では効果的な方策は見つかっていないため、2020 年度も引き続き検討を進める予定です。

### 6) 学費水準の検討／財源の多様化

- ① 消費税値上げ等に対応して、学費値上げの是非を学生募集／財務の両面から検討し、2020 年度入学生からの学費値上げを実施しました。
- ② 安全性／収益性に配慮した資金運用を図り、41 百万円／年の金融資産運用益を獲得しました。
- ③ 熊保大夢基金を創設し、70 個人から 400 万円、8 法人から 7,000 万円の寄付を頂きました。

7) 病院・大学との連携／マーケティング

- ① 関係の深い福田病院、崇城大学との連携協定を締結しました。
- ② 大学という成熟マーケットにおける継続的な競争優位性を確立するため、競合する他大学の現状調査・分析を実施するとともに、リクルート進学総研所長の小林浩氏による講演を開催し、競合他大学の動向を踏まえた競争戦略策定のベースづくりに取り組みました。

8) 奨学金制度の新設・拡充

- ① 経済支援の視点／学生募集の視点から、入学試験前予約型奨学制度を新設し、2020年度入学生から開始しました。
- ② 非社会人大学院生の奨学金を拡充し、2020年度入学生から開始しました。

9) 事務の効率化

- ① 合理化／防犯／不正防止の観点から、旅費経費等精算のキャッシュレス化を実現し、2019年4月から開始しました。

10) 自己管理／内部監査

- ① 令和2年3月の理事会・評議員会は新型コロナウイルス感染防止対策下での実施となりましたが、概ね適切に運営しました。
- ② 三様監査体制の充実までには至りませんでした。内部監査体制の強化に努めました。

(5) 業務運営・その他に関すること

1) 学長のリーダーシップによる大学のガバナンス強化

- ① 大学運営協議会（定例11回開催）で審議・報告された主な事項
  - ・学則、その他の学内諸規程の制定、改定
  - ・事業報告・事業計画、中長期計画
  - ・決算、予算
  - ・共同研究講座
  - ・補助金事業申請への対応
  - ・自己点検・評価への対応
  - ・認定看護師教育課程の再開講
  - ・寄附講義 など
- ② 教授会（定例11回、臨時6開催）で審議・報告された主な事項
  - ・入学試験日程及び合否判定（指定校・一般推薦、一般、センター前・後期）
  - ・卒業認定、進級判定、保健師選択学生の選考、単位認定（TOEIC など）

- ・学生の各種表彰・懲戒
- ・科目等履修及び学籍異動
- ・授業暦
- ・指定校の選定
- ・カリキュラム変更、学内諸規程の制定・改定
- ・ティーチング・アシスタント
- ・大学運営協議会報告、各委員会報告 など

③ 学術研究会議（定例 5 回、臨時 2 回開催）で審議・報告された主な事項

- ・学内研究助成の募集に関する検討、申請の審査・採択
- ・学外との共同研究、受託研究の受入
- ・学術講演会の開催及び報告
- ・研究員の受入・更新、諸規程の改定
- ・研究に関するアンケートの実施
- ・研究倫理教育の研修（eラーニングの利用） など

2) 人事評価制度の改善及び教職員の能力向上

- ① 教員評価については、平成 31 年 4 月から令和 2 年 3 月までの自己評定について、新規教員への説明会を実施しました。自己評定を基に教員評価を実施し、令和 2 年 4 月給与から処遇へ反映させます。
- ② 職員評価については、平成 30 年 10 月から令和元年 9 月までの一年間の評価を、令和 2 年 4 月の昇給に実処遇反映させます。

3) 職場の環境づくりの推進

① 労働安全衛生の取組み

- ・全教職員に対してストレスチェック（11 月）を実施し、産業医の指導のもとで高ストレス者面接を行うとともに、集団分析を行いました。
- ・衛生委員会による職場巡視（9 回）を行い、職場環境の改善につなげました。
- ・作業環境測定を計画通り 2 回（7 月、1 月）実施しました。

② 施設設備の整備活用（100 万円以上）

- ・银杏橋外灯更新：老朽化対応（1,058,400 円）
- ・吸収式冷温水発生装置（2 号機）定期整備：定期整備（3,420,000 円）
- ・クーリングタワー充填剤交換：老朽化対応（3,410,000 円）
- ・ガス発生装置用温水システム設備更新：老朽化対応（1,323,000 円）
- ・屋上防水工事（1 号館, レストラン, 旧アリーナ）：雨漏り予防（3,682,800 円）
- ・会議室（1204～1206）のマイク増設：会議時の利便性向上（1,141,800 円）
- ・3 号館入口自動ドア取付け：利便性向上（3,212,000 円）

- ・3号館3309雨漏り補修：雨漏り対応（1,903,000円）
- ・講義室オーディオ機器更新：学内定期点検後の不良個所対応（1,329,900円）
- ・キンモクセイ・ツツジの植込み：園芸療法・周辺環境整備（2,107,600円）
- ・アリーナ南側法面防草シート設置：安全面から除草作業の廃止（5,368,000円）
- ・アリーナ外壁サイン工事：広報の一環（8,888,000円）
- ・1号館非常灯更新：バッテリー切れによる点灯不可対応（3,905,000円）
- ・3号館3階教員室増設：教員用個室不足対応（8,800,000円）
- ・体育会系部室建設：旧アリーナ改造に伴う体育会系部室建設（62,046,000円）
- ・駐輪・駐車場更新：建築基準法対応（28,600,000円）

#### 4) 評価の充実

- ① 令和元年度自己点検・評価報告書の作成
  - ・作成（10月）、理事会提出（11月）、ホームページ公開（10月）
  - ・改善の実質化のため、基準ごとの点検項目を関連部署に周知
- ② 第3期大学機関別認証評価受審の体制整備
  - ・受審年度：令和2年度（2020年度）、リエゾンオフィスの本格始動
- ③ 外部の大学評価委員による自己点検・評価報告書のチェック

#### 5) 情報公開や情報発信等の推進

- ① 法令等に基づいた的確な情報公開の実施
  - ・事業報告書、収支計算書、貸借対照表、財産目録、監事による監査報告書を事務所に備え置くとともに、『学園通信ぎんきょう』、学内LAN、ホームページを通じて学内外に公開しました。

#### 6) プラットフォーム形成への参画等、他大学との連携

- ① 大学コンソーシアム熊本の各部会・委員会への参画
  - ・大学コンソーシアム熊本によるプラットフォームの形成に際し、中心となる3大学（熊本学園大、崇城大、本学）の一つとして積極的に関与し、補助金の獲得に寄与しました。
- ② 九州地域大学教育改善FD・SDネットワーク（Q-Links）賛同校としての活動
  - ・Q-Links 賛同校等に本学のセミナー等への参加を呼びかけ、FDセミナーに学外から5名の方に参加していただきました。
- ③ 連携協定を締結している他大学との連携
  - ・合同FDの実施（崇城大学）
  - ・特別転入学制度の整備と運用（熊本学園大学）
- ④ 日本私立大学協会九州支部の「第6回初任者研修会」を当番大学（九州看護福祉大学・崇城大学・本学）の代表校として企画し、本学において開催しました。
  - ・実施日：8月29日～30日、研修参加者：63名

## 2 学生の動向

### (1) 入学試験における志願等の状況

#### ○保健科学部全体

	募集数	志願者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率
合計	320	1,366	633	359	4.3	2.2

#### ○保健科学部／医学検査学科

入試区分	募集数	志願者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率
指定校推薦	15	10	10	10	—	—
一般推薦	35	34	30	30	1.0	1.1
一般	40	171	104	58	4.3	1.6
センター(前期)	5	108	53	10	21.6	2.0
センター(後期)	5	10	5	4	2.0	2.0
合計	100	333	202	112	3.3	1.6

#### ○保健科学部／看護学科

入試区分	募集数	志願者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率
指定校推薦	15	14	14	14	—	—
一般推薦	32	98	32	32	3.1	3.1
一般	43	278	106	52	6.5	2.6
センター(前期)	5	125	43	7	25.0	2.9
センター(後期)	5	12	5	4	2.4	2.4
合計	100	527	200	109	5.3	2.6

#### ○保健科学部／リハビリテーション学科

入試区分	募集数	志願者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率
指定校推薦	15	12	12	12	—	—
一般推薦	45	102	48	48	2.3	2.1
一般	45	193	73	51	4.3	2.6
センター(前期)	9	187	93	24	20.8	2.0
センター(後期)	6	11	4	2	1.8	2.8
社会人	若干名	1	1	1	—	—
合計	120	506	231	138	4.2	2.2

## ○助産別科

入試区分	募集数	志願者数	合格者数	入学者数
推薦	10	24	10	10
一般	10	30	11	10
<b>合 計</b>	<b>20</b>	<b>54</b>	<b>21</b>	<b>20</b>

## ○大学院保健科学研究科／保健科学専攻

入試区分	募集数	志願者数	合格者数	入学者数
推薦	10	2	2	2
社会人Ⅰ期		2	2	2
一般		0	0	0
社会人Ⅱ期		4	4	4
<b>合 計</b>	<b>10</b>	<b>8</b>	<b>8</b>	<b>8</b>

## (2) 国家試験の合格状況

資格名	2017年度		2018年度		2019年度		
	全国 (%)	本学 (%)	全国 (%)	本学 (%)	全国 (%)	本学 (%)	合格/受験 (人)
臨床検査技師	79.3	96.0	75.2	83.2	71.5	<b>93.2</b>	96/103
看護師	91.0	98.2	89.3	96.7	89.2	<b>97.2</b>	106/109
保健師	81.4	90.5	81.8	90.0	91.5	<b>100</b>	21/21
理学療法士	81.4	97.8	85.8	93.8	86.4	<b>97.7</b>	42/43
作業療法士	77.6	85.7	71.3	91.1	87.3	<b>97.6</b>	41/42
言語聴覚士	79.3	97.2	68.9	97.8	65.4	<b>93.6</b>	44/47
助産師	98.7	100	99.6	100	99.4	<b>100</b>	19/19

## (3) 卒業生の進路状況

※2020(令和2)年3月31日現在

注：九州には、沖縄も含みます。

## 【医学検査学科】

卒業生数	114	※進路決定率 98.0% (99/101 その他を除く)			
就職者数	99	臨床検査技師	92	県内	20
				県外(九州内)	58
				県外(九州外)	14
		上記以外	7(資格不要)	県内	2
				県外(九州内)	0
県外(九州外)	5				
進学者数	0	(*1) 就職を希望しない者、来年度の国家試験に専念する者です。			
未定	2				
その他(*1)	13				

## 【看護学科】

卒業生数	109	※進路決定率 100% (106/106 その他を除く)			
就職者数	92	看護師	90	県内	46
				県外(九州内)	31
				県外(九州外)	13
		保健師	2	県内	1
				県外(九州内)	1
上記以外	0				
進学者数	14	(*1) 就職を希望しない者、来年度の国家試験に専念する者です。			
未定	0				
その他(*1)	3				

## 【リハビリテーション学科理学療法学専攻】

卒業生数	43	※進路決定率 100% (42/42 その他を除く)			
就職者数	40	理学療法士	39	県内	16
				県外(九州内)	14
				県外(九州外)	9
		上記以外	1(資格不要)	県内	1
進学者数	2	(*1) 就職を希望しない者、来年度の国家試験に専念する者です。			
未定	0				
その他(*1)	1				

## 【リハビリテーション学科生活機能療法学専攻】

卒業生数	42	※進路決定率 92.7% (38/41 その他を除く)			
就職者数	38	作業療法士	38	県内	24
				県外(九州内)	8
		上記以外	0	県外(九州外)	6
進学者数	0	(*1) 就職を希望しない者、来年度の国家試験に 専念する者です。			
未定	3				
その他(*1)	1				

## 【リハビリテーション学科言語聴覚学専攻】

卒業生数	47	※進路決定率 95.6% (43/45 その他を除く)			
就職者数	43	言語聴覚士	43	県内	16
				県外(九州内)	18
		上記以外	0	県外(九州外)	9
進学者数	0	(*1) 就職を希望しない者、来年度の国家試験に 専念する者です。			
未定	2				
その他(*1)	2				

## 【助産別科】

卒業生数	19	※進路決定率 100% (19/19)			
就職者数	19	助産師	19	県内	8
				県外(九州内)	5
				県外(九州外)	6

### Ⅲ 財務の概要

学校法人銀杏学園の令和元年度決算は、教育活動収入が2,473百万円、教育活動外収入が41百万円だったのに対し、教育活動支出は2,391百万円でした。

この結果、経常収支差額は+123百万円（前年度比+15百万）となり、収支の均衡を達成することができました。

#### 1 事業活動収支計算書 （平成27年度～令和元年度）

（単位：百万円）

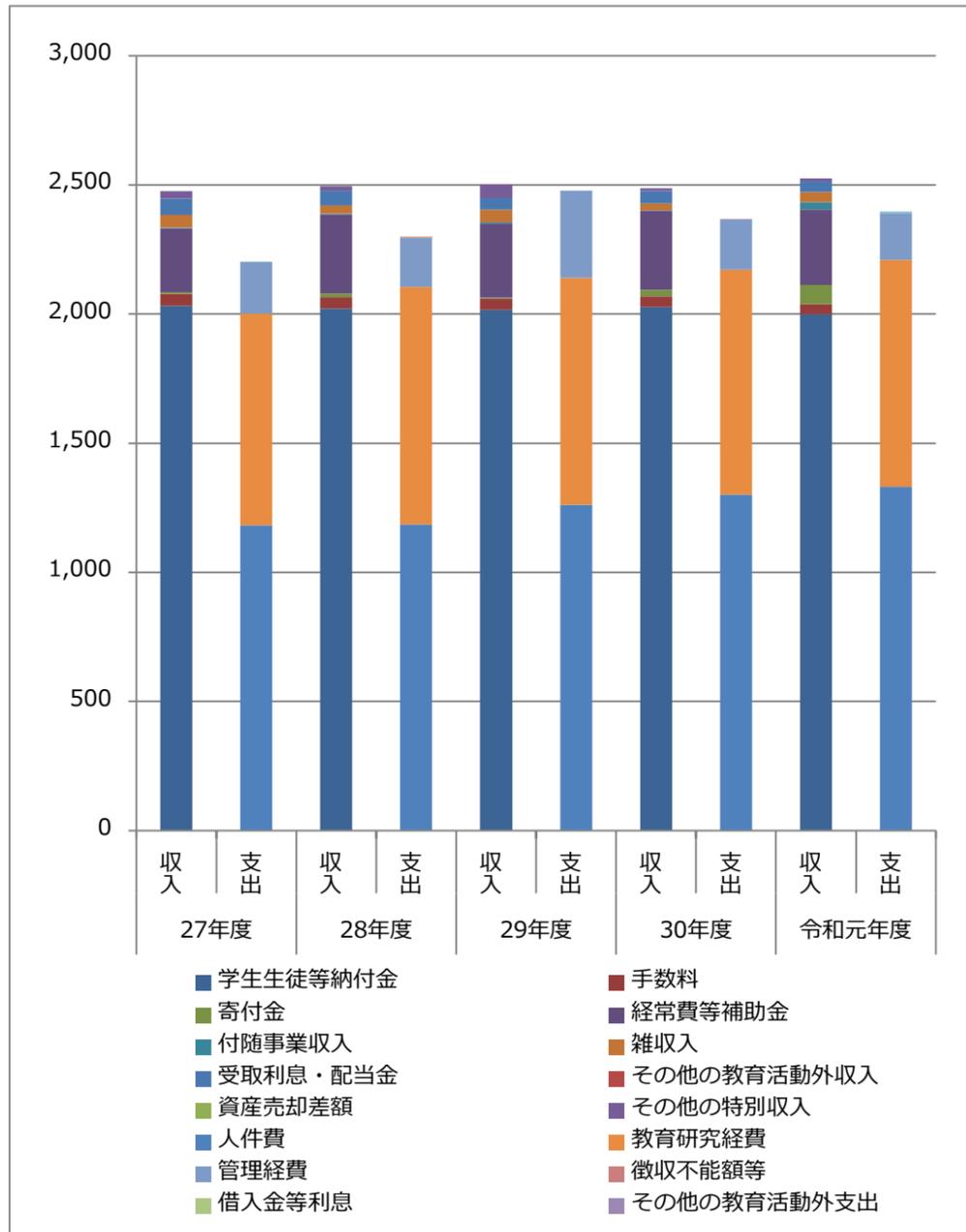
科目		27年度	28年度	29年度	30年度	R01年度	科目の説明	
教育活動収入	学生生徒等納付金	2,032	2,021	2,016	2,027	1,999	学生から納入された入学金、授業料等	
	手数料	46	44	44	42	39	入学検定料、証明手数料等	
	寄付金	6	14	3	25	75	教育振興寄付金等	
	経常費等補助金	247	307	288	306	292	私立大学等経常費補助金等	
	付随事業収入	4	3	4	2	28	受託研究に係る収入	
	雑収入	49	32	50	26	40	上記以外の教育活動に係る収入	
	教育活動収入の部	2,384	2,421	2,405	2,428	2,473		
	教育活動支出	人件費	1,183	1,186	1,262	1,302	1,332	教職員の給与等
		教育研究経費	819	919	878	869	877	教育研究に要する経費および減価償却額
		管理経費	199	190	337	196	182	管理運営に要する経費および減価償却額
徴収不能額等		0	1	0	1	0	徴収不能見込額を引当金計上する場合に使用	
教育活動支出の部		2,201	2,296	2,477	2,368	2,391		
教育活動収支差額	183	125	△72	60	82			
教育活動外収入	受取利息・配当金	63	57	44	48	41	施設設備、現預金の運用収入	
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0	収益事業収入等	
	教育活動外収入の部	63	57	44	48	41		
	教育活動外支出	借入金等利息	0	0	0	0	0	借入金利息、学校債利息等
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	上記以外の教育活動外に係る支出
教育活動外支出の部		0	0	0	0	0		
教育活動外収支差額	63	57	44	48	41			
経常収支差額	246	182	△28	108	123			
特別収入	資産売却差額	0	0	0	0	0	資産売却時の帳簿価額との差額	
	その他の特別収入	29	17	52	11	11	現物寄付、施設設備補助金等	
	特別収入の部	29	17	52	11	11		
	特別支出	資産処分差額	1	2	0	0	6	資産を廃棄除却した時の簿価
		その他の特別支出	0	3	0	0	0	災害損失、過年度修正額等
特別支出の部		1	5	0	0	6		
特別収支差額	28	12	52	11	5			
基本金組入前当年度収支差額	274	194	24	119	128			
基本金組入額合計	△385	△424	△1,213	△561	△522	将来計画に基づき組み入れる額		
当年度収支差額	△111	△230	△1,189	△442	△394			
前年度繰越収支差額	△992	△1,103	△1,333	△2,522	△2,964			
基本金取崩額	0	0	0	0	0			
翌年度繰越収支差額	△1,103	△1,333	△2,522	△2,964	△3,358			
事業活動収入計	2,476	2,495	2,501	2,487	2,525	企業会計でいう収益		
事業活動支出計	2,202	2,301	2,477	2,368	2,397	企業会計でいう費用		

#### 2 貸借対照表 （平成27年度～令和元年度）

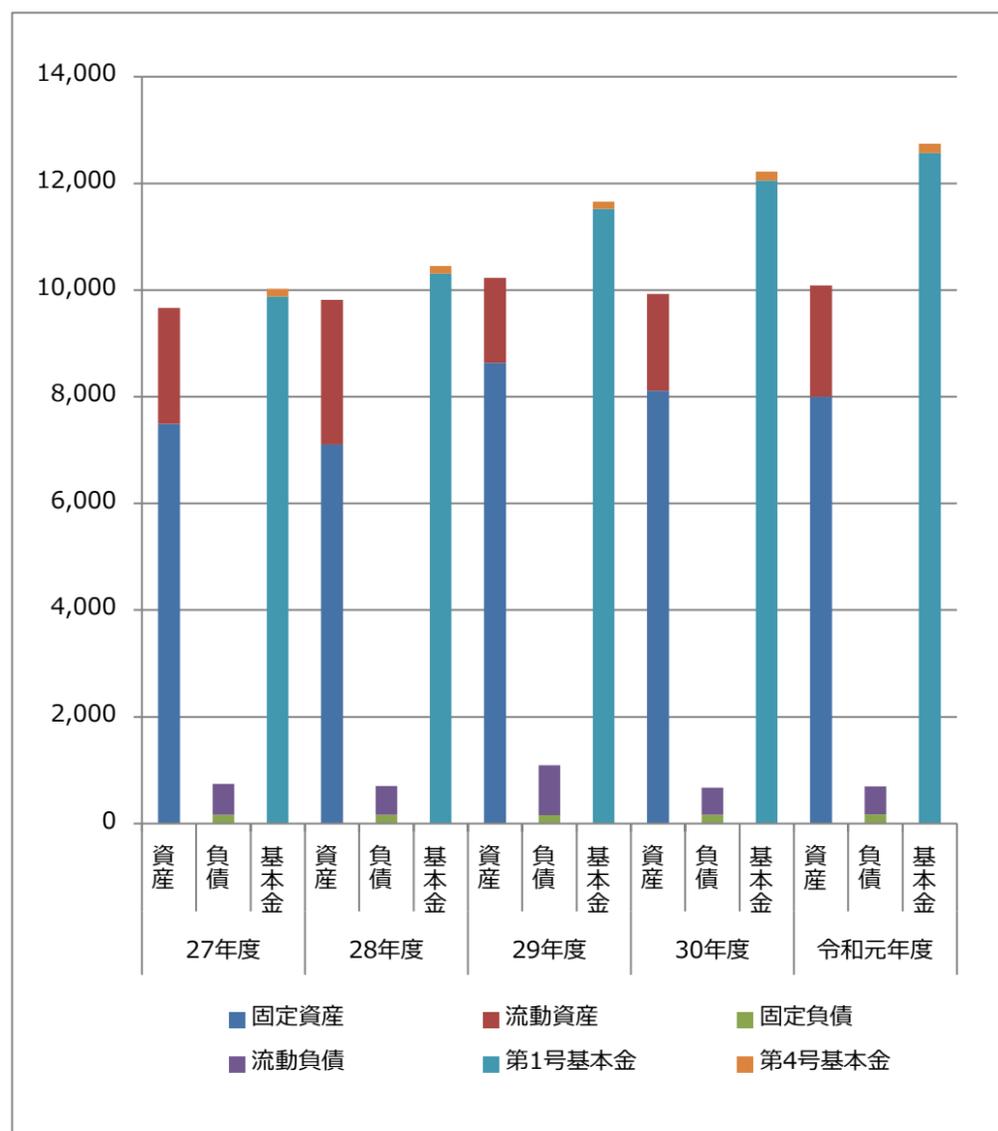
（単位：百万円）

科目	27年度	28年度	29年度	30年度	R01年度	科目の説明
資産の部						
固定資産	7,490	7,101	8,633	8,110	8,004	土地、建物、構築物、機器備品、図書等
流動資産	2,176	2,717	1,598	1,820	2,080	現預金、未収入金、前払金等
資産の部合計	9,666	9,818	10,231	9,930	10,084	
負債の部						
固定負債	161	165	156	162	175	退職給与引当金
流動負債	583	537	936	509	522	未払金、前受金等
負債の部合計	744	702	1,092	671	697	
純資産の部						
基本金	10,025	10,449	11,661	12,223	12,745	
第1号基本金	9,883	10,307	11,519	12,050	12,572	固定資産のうち教育の用に供されるものの価額
第4号基本金	142	142	142	173	173	恒常的に保持すべき資金の額
繰越収支差額	△1,103	△1,333	△2,522	△2,964	△3,358	
純資産の部合計	8,922	9,116	9,139	9,259	9,387	
負債及び純資産の部合計	9,666	9,818	10,231	9,930	10,084	

(平成27年度～令和元年度)



(平成27年度～令和元年度)



### 3 財務比率

#### 事業活動収支関係比率

※評価指標 ↑: 高い値が良い ↓: 低い値が良い - : どちらともいえない

(平成27年度～令和元年度)

比率	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	※	算式(×100)
人件費比率	48.3%	47.9%	51.5%	52.6%	53.0%	↓	人件費/経常収入
人件費依存率	58.2%	58.7%	62.6%	64.2%	66.7%	↓	人件費/学生生徒等納付金
教育研究経費比率	33.5%	37.1%	35.8%	35.1%	34.9%	↑	教育研究経費/経常収入
管理経費比率	8.1%	7.7%	13.7%	7.9%	7.2%	↓	管理経費/経常収入
借入金等利息比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	↓	借入金等利息/経常収入
事業活動収支差額比率	11.1%	7.7%	1.0%	4.8%	5.1%	↑	基本金組入前当年度収支差額/事業活動収入
基本金組入後収支比率	105.3%	111.2%	192.2%	123.0%	119.6%	↓	事業活動支出/(事業活動収入-基本金組入額)
学生生徒等納付金比率	83.0%	81.6%	82.3%	81.9%	79.5%	-	学生生徒等納付金/経常収入
寄付金比率	0.7%	0.8%	0.4%	1.5%	3.4%	↑	寄付金/事業活動収入
経常寄付金比率	0.2%	0.6%	0.1%	1.0%	3.0%	↑	教育活動収支の寄付金/経常収入
補助金比率	10.7%	12.7%	13.3%	12.3%	11.6%	↑	補助金/事業活動収入
経常補助金比率	10.1%	12.4%	11.7%	12.4%	11.6%	↑	教育活動収支の補助金/経常収入
基本金組入率	15.5%	17.0%	48.5%	22.6%	20.7%	↑	基本金組入額/事業活動収入
減価償却額比率	17.0%	15.5%	15.2%	16.8%	16.7%	-	減価償却額/経常支出
経常収支差額比率	10.1%	7.3%	-1.1%	4.3%	4.9%	↑	経常収支差額/経常収入
教育活動収支差額比率	7.7%	5.1%	-2.9%	2.5%	3.3%	↑	教育活動収支差額/教育活動収入計

#### 貸借対照表関係比率

(平成27年度～令和元年度)

比率	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	※	算式(×100)
固定資産構成比率	77.5%	72.3%	84.4%	81.7%	79.4%	↓	固定資産/総資産
有形固定資産構成比率	55.4%	56.5%	66.0%	65.2%	66.3%	↓	有形固定資産/総資産
特定資産構成比率	1.8%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	↑	特定資産/総資産
流動資産構成比率	22.5%	27.7%	15.6%	18.3%	20.6%	↑	流動資産/総資産
固定負債構成比率	1.7%	1.7%	1.5%	1.6%	1.7%	↓	固定負債/(負債+純資産)
流動負債構成比率	6.0%	5.5%	9.1%	5.1%	5.2%	↓	流動負債/(負債+純資産)
内部留保資産比率	36.2%	35.6%	22.3%	27.2%	26.0%	↑	(運用資産-総負債)/総資産
運用資産余裕比率	187.5%	176.4%	114.8%	138.8%	133.0%	↑	(運用資産-外部負債)/事業活動支出
純資産構成比率	92.3%	92.8%	89.3%	93.2%	93.1%	↑	純資産/(負債+純資産)
繰越収支差額構成比率	△11.4%	△13.6%	△24.6%	△29.8%	△33.0%	↑	繰越収支差額/(負債+純資産)
固定比率	83.9%	77.9%	94.5%	87.6%	85.3%	↓	固定資産/純資産
固定長期適合率	82.5%	76.5%	92.9%	86.1%	83.7%	↓	固定資産/(純資産+固定負債)
流動比率	373.6%	505.0%	171.0%	357.7%	399.0%	↑	流動資産/流動負債
総負債比率	7.7%	7.2%	10.7%	6.8%	6.9%	↓	総負債/総資産
負債比率	8.3%	7.7%	11.9%	7.2%	7.4%	↓	総負債/純資産
前受金保有率	510.0%	789.3%	444.7%	484.2%	612.9%	↑	現金預金/前受金
退職給与引当特定資産保有率	105.8%	103.0%	108.7%	105.1%	97.0%	↑	退職給与引当特定資産/退職給与引当金
基本金比率	99.6%	99.4%	96.4%	99.9%	99.6%	↑	基本金/基本金要組入額
減価償却比率	47.5%	47.8%	51.2%	54.3%	57.0%	-	減価償却累計額/減価償却資産取得価額(図書を除く)
積立率	90.0%	84.8%	63.7%	59.3%	55.1%	↑	運用資産/要積立額